

**Duron<sup>®</sup> F**  
デューロンF



## 繊維バリエーション

種類	 CLOPP	 CLOPP-C
内容	中実PP繊維	中空PP繊維
比重	0.91	<b>0.78</b> (見掛け)
特長	<b>水に浮く軽さ</b> 、速乾性があり保温性も高い。	更に軽く、 <b>究極の軽さ</b> を追求。

## 中綿バリエーション

種類	 開織綿 (PC-N)	 板綿 (PC-K)	 粒綿 (PC-B)	 ストレッチ (PC-K4)
形状	開織された綿状のもの	樹脂加工されたシート状のもの	綿をボール状にしたもの	ストレッチ性のあるシート状のもの
特長	最も柔らかく羽毛ライクな触感。	シート状になっているため縫製加工がしやすい。	ダウン同様吹き込み加工が可能、洗濯による偏りが少ない	シート状でストレッチ性がある。
想定用途	<b>アウターダウン</b> <b>インナーダウン</b>	<b>インナーダウン</b>	<b>アウターダウン</b> <b>インナーダウン</b>	<b>スポーツウェア</b> <b>部分使い</b>

## 洗濯表記



※ 繊維組織、アイテム及び商品仕様により表記は異なります。

 **ダイワボウポリテック株式会社**  
TEL 06-6281-2414

 **ダイワボウノイ株式会社**  
TEL 06-6281-2406・03-4332-8228

<http://www.daiwabo.co.jp/>

DA-002-1

中綿用ポリプロピレン繊維

**Duron<sup>®</sup> F**  
デューロンF

ダイワボウ

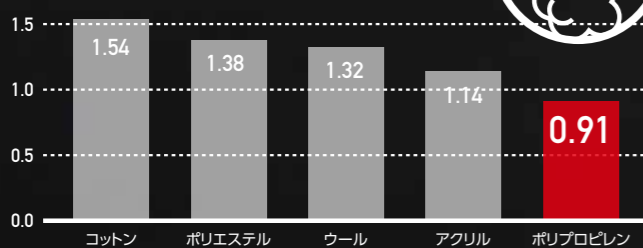
DA-002-1

# 軽い

## 水に浮く軽さ

主要合成繊維の中で、最も軽量で水に浮くほどの軽さ。

### 比重



出典：日本化学繊維協会著「化学せんい」



## ポリプロピレン解禁

ポリプロピレン繊維の業界自主規制が、日本化学繊維協会にて2012年12月27日に改定されました。ダイワボウは、独自の繊維製造技術・品質管理・トレーサビリティシステムにより安全を提供します。

### 用途



## Duron®F 誕生まで

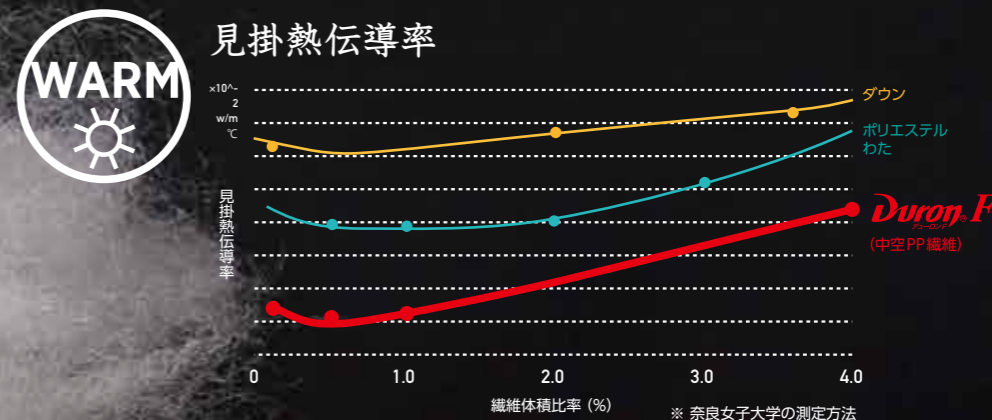
従来、ポリプロピレンとセルロース系繊維の混用は、過熱を続けると自然発火する危険性があることから、日本化学繊維協会（以下、化繊協会）は安全対策として国内の販売を自主規制してきました。ダイワボウは、化繊協会の安全基準に合格する中綿ポリプロピレン繊維 Duron®F の開発に初めて成功しました。

# 暖かい

## ダウンより熱を逃がしにくい

見掛熱伝導率が一般的な合成繊維の中で、もっとも低く非常に保温性に優れています。その為、熱が逃げにくく暖かい素材です。

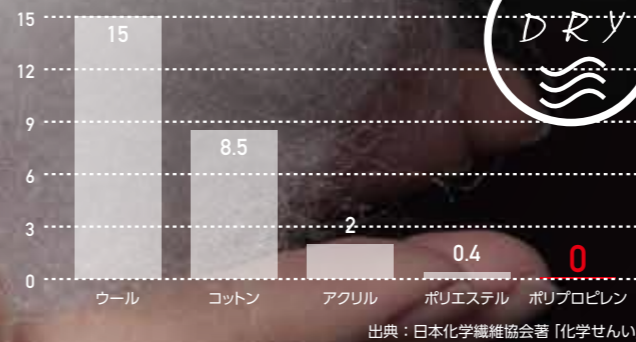
### 見掛熱伝導率



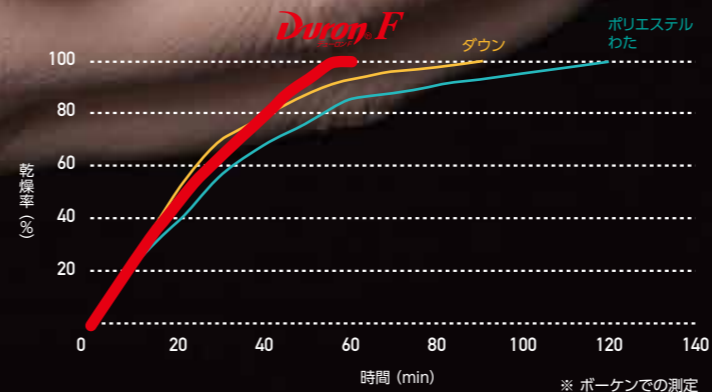
# Duron®F

デュロンF

### 公定水分率



### 各種中綿の洗濯乾燥性比較



# 速乾

## 公定水分率がゼロ

素材そのものが、水分をまったく吸収しない為、サラッと快適に過ごせます。また、家庭での洗濯も容易になり、イージーケアが実現します。

データは一例であり、効果を保証するものではありません。公的機関での測定結果